

江戸の妖怪文化 —信仰と娯楽のはざままで—

日程：2017年 9月13日 14時～

会場：ヴェネチア大学図書館

(CFZ Cultural Flow Zone - TESA 1)

住所：Zattere al Pontelungo, Dorsoduro 1392 Venezia

小松和彦 国際日本文化研究センター所長
「江戸の妖怪文化—信仰と娯楽のはざままで— 趣旨説明」

安井真奈美 国際日本文化研究センター教授
「出産と怪異—イメージの背景を探る」

香川雅信 兵庫県立歴史博物館学芸員
「江戸の妖怪文化と博物学」

永原順子 大阪大学助教
「夏祭りの宵闇に浮かぶ“おどろ”の芝居絵が語るもの
～高知県内の「絵金」調査から～」

マティアス・ハイエク パリ・ディドロ大学准教授
「異形と怪類—『和漢三才図会』における
「妖怪的」存在と近世の自然観」

アンドレア・ジョライ 日本学術振興会
「近世と現代における三方楽所の大衆化
—楽家の団結から愛好家の離別へ」

ボナヴェントゥーラ・ルペルティ ヴェネチア大学教授
「近松門左衛門の時代浄瑠璃における酒吞童子」



落合芳幾「百物語 切子燈籠」
(国際日本文化研究センター所蔵)

お問い合わせ (E-mail) :
ruperti@unive.it (ヴェネチア大学 ボナヴェントゥーラ・ルペルティ)
imaihdkz@nichibun.ac.jp (国際日本文化研究センター 妖怪プロジェクト室)